

**【表紙】**

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2017年8月2日
【四半期会計期間】	第21期第1四半期(自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)
【会社名】	モーニングスター株式会社
【英訳名】	Morningstar Japan K.K.
【代表者の役職氏名】	代表取締役執行役員社長 朝倉智也
【本店の所在の場所】	東京都港区六本木一丁目6番1号
【電話番号】	03(6229)0810
【事務連絡者氏名】	取締役執行役員管理部長 小川和久
【最寄りの連絡場所】	東京都港区六本木一丁目6番1号
【電話番号】	03(6229)0810
【事務連絡者氏名】	取締役執行役員管理部長 小川和久
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第20期 第1四半期連結 累計期間	第21期 第1四半期連結 累計期間	第20期
会計期間	自 2016年4月1日 至 2016年6月30日	自 2017年4月1日 至 2017年6月30日	自 2016年4月1日 至 2017年3月31日
売上高 (千円)	1,280,418	1,551,405	4,790,853
経常利益 (千円)	496,432	535,831	1,618,000
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (千円)	334,201	356,912	1,025,634
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	334,201	376,835	909,839
純資産額 (千円)	8,505,911	8,772,360	9,084,487
総資産額 (千円)	9,098,990	9,552,348	10,092,214
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	4.09	4.37	12.56
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	4.08	4.36	12.53
自己資本比率 (%)	93.4	91.8	89.9

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には消費税等は含まれておりません。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社および当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期報告書提出日現在において、当社グループ（当社および連結子会社）が判断したものであります。

#### (1) 当第1四半期連結累計期間の連結業績の概況

当第1四半期連結累計期間(2017年4月1日～2017年6月30日)の連結業績は、売上が前年同四半期(2016年4月1日～2016年6月30日)の1,280百万円から270百万円(21.2%)の増収となる1,551百万円となりました。

また、売上原価は、前年同四半期の578百万円から249百万円(43.1%)増加し827百万円となり、販売費及び一般管理費は、前年同四半期の205百万円から14百万円(7.3%)減少し190百万円となりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の営業利益は、前年同四半期の496百万円から36百万円(7.4%)増益となる532百万円となりました。

営業外損益は、前年同四半期と比べ、純額で2百万円増加し、その結果、当第1四半期連結累計期間の経常利益は、前年同四半期の496百万円から39百万円(7.9%)の増益となる535百万円となりました。

上記の結果、当第1四半期連結累計期間の親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同四半期の334百万円から22百万円(6.8%)の増益となる356百万円となりました。

セグメント別売上高、サービス別売上高は、以下のとおりであります。

セグメント別売上高	前第1四半期連結累計期間 2016年4月1日から 2016年6月30日まで		当第1四半期連結累計期間 2017年4月1日から 2017年6月30日まで		増加率 (%)
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	
サービス別売上高					
ファイナンシャル・サービス事業					
データ・ソリューション	502,188	39.2	490,181	31.6	2.4
メディア・ソリューション	371,589	29.0	320,141	20.6	13.8
計	873,777	68.2	810,322	52.2	7.3
アセットマネジメント事業					
アセットマネジメント	406,640	31.8	741,083	47.8	82.2
計	406,640	31.8	741,083	47.8	82.2
連結売上高	1,280,418	100.0	1,551,405	100.0	21.2

#### 1) ファイナンシャル・サービス事業

##### ・データ・ソリューション

ファンドデータやファンドレポートの売上が増加いたしました。2017年3月に事業譲渡したマネールックの売上がなくなりました。その結果、データ・ソリューションの売上高は、前年同四半期の502百万円から12百万円(2.4%)の減収となる490百万円となりました。

##### ・メディア・ソリューション

ウェブ広告や資産運用セミナーなどを統合的に提供するメディア・ソリューションの売上は前年同四半期とほぼ同額でしたが、ウェブ・コンサルティングの売上が減少いたしました。その結果、メディア・ソリューションの売上高は、前年同四半期の371百万円から51百万円(13.8%)の減収となる320百万円となりました。

#### 2) アセットマネジメント事業

・アセットマネジメント

SBIアセットマネジメント株式会社が運用するファンドの純資産額が、前年同四半期末の178,929百万円から42,495百万円(23.8%)増加し221,425百万円となり、投資委託者報酬が増加したのに加え、成功報酬型手数料も獲得いたしました。その結果、アセットマネジメントの売上高は、前年同四半期の406百万円から334百万円(82.2%)の増収となる741百万円となりました。

セグメント別には、ファイナンシャル・サービス事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は、前年同四半期の873百万円から63百万円(7.3%)の減収となる810百万円となりました。セグメント利益は、前年同四半期の407百万円から5百万円(1.4%)の減益となる401百万円となりました。

アセットマネジメント事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は、前年同四半期の406百万円から334百万円(82.2%)の増収となる741百万円となりました。セグメント利益は、前年同四半期の88百万円から42百万円(47.7%)の増益となる130百万円となりました。

(2) 財政状態の分析

資産合計は前連結会計年度末と比較して539百万円減少し、9,552百万円となりました。

これは、流動資産が1,761百万円減少し、固定資産が1,221百万円増加したものであります。

流動資産は前連結会計年度末と比較して1,761百万円減少し、3,437百万円となりました。

流動資産の減少は、主として現金及び預金が1,979百万円減少したことによるものであります。

現金及び預金の減少は、主として投資有価証券を1,100百万円購入したこと、配当金を694百万円支払ったことによるものであります。

固定資産が前連結会計年度末と比較して1,221百万円増加し、6,114百万円となりましたが、これは主として、投資有価証券を1,100百万円購入したためであります。

また、負債合計は前連結会計年度末と比較して227百万円減少し、779百万円となりました。

負債の減少は、主として法人税等の支払のタイミングにより、未払法人税等が373百万円減少したことによるものであります。

当第1四半期連結累計期間に356百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益が計上され、694百万円の配当を行なった結果、利益剰余金が337百万円減少し、3,885百万円となりました。

その結果、純資産合計は、前連結会計年度末と比較して312百万円減少し、8,772百万円となりました。

(3) 事業上および財務上の当社が対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	315,600,000
計	315,600,000

###### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (2017年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (2017年8月2日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	83,973,600	83,973,600	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	83,973,600	83,973,600		

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2017年4月1日～ 2017年6月30日	-	83,973,600	-	2,115,620	-	2,506,927

##### (6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】  
 【発行済株式】

2017年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 2,271,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 81,701,600	817,016	
単元未満株式	普通株式 1,000		
発行済株式総数	83,973,600		
総株主の議決権		817,016	

【自己株式等】

2017年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有 株式数の割合(%)
モーニングスター 株式会社	東京都港区六本木 一丁目6番1号	2,271,000	—	2,271,000	2.7
計		2,271,000	—	2,271,000	2.7

2【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（2017年4月1日から2017年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（2017年4月1日から2017年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2017年6月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	4,482,501	2,502,522
売掛金	530,889	815,089
たな卸資産	12,482	16,968
繰延税金資産	45,053	29,355
その他	138,045	83,547
流動資産合計	5,198,971	3,437,483
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
有形固定資産	257,997	268,088
<b>無形固定資産</b>		
のれん	314,975	309,300
ソフトウェア	350,430	373,519
その他	35,228	26,767
無形固定資産合計	700,634	709,587
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	33,882,742	35,089,719
繰延税金資産	55,826	47,846
その他	196,043	199,623
投資その他の資産合計	4,134,611	5,337,190
固定資産合計	4,893,242	6,114,865
資産合計	10,092,214	9,552,348



(単位：千円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2017年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	57,865	36,759
未払金	327,092	408,765
未払法人税等	561,754	188,068
未払消費税等	44,707	60,121
その他	16,308	86,273
流動負債合計	1,007,727	779,988
負債合計	1,007,727	779,988
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,115,620	2,115,620
資本剰余金	3,250,035	3,252,025
利益剰余金	4,222,590	3,885,200
自己株式	395,943	392,487
株主資本合計	9,192,301	8,860,359
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	115,794	95,870
その他の包括利益累計額合計	115,794	95,870
新株予約権	7,979	7,872
純資産合計	9,084,487	8,772,360
負債純資産合計	10,092,214	9,552,348

## (2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)
売上高	1,280,418	1,551,405
売上原価	578,589	827,991
売上総利益	701,828	723,413
販売費及び一般管理費	205,480	190,513
営業利益	496,347	532,900
営業外収益		
受取利息	26	4,157
受取配当金	60	18
信託運用益	2,018	-
その他	117	0
営業外収益合計	2,222	4,176
営業外費用		
支払利息	6	-
為替差損	1,516	272
持分法による投資損失	613	973
その他	0	-
営業外費用合計	2,137	1,245
経常利益	496,432	535,831
税金等調整前四半期純利益	496,432	535,831
法人税、住民税及び事業税	150,407	162,941
法人税等調整額	11,823	15,977
法人税等合計	162,231	178,918
四半期純利益	334,201	356,912
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	334,201	356,912

## 【四半期連結包括利益計算書】

## 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)
四半期純利益	334,201	356,912
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	-	19,923
その他の包括利益合計	-	19,923
四半期包括利益	334,201	376,835
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	334,201	376,835
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

【注記事項】

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

1 たな卸資産の内訳

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2017年6月30日)
仕掛品	789千円	5,278千円
貯蔵品	1,692	1,690

2 有形固定資産の減価償却累計額

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2017年6月30日)
	212,825千円	216,830千円

3 関連会社の株式の額

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2017年6月30日)
投資有価証券(株式)	16,277千円	15,303千円

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目

	前第1四半期連結累計期間 (自2016年4月1日 至2016年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年6月30日)
従業員給与	62,986千円	54,782千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自2016年4月1日 至2016年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年6月30日)
減価償却費	25,916千円	30,880千円
のれんの償却額	13,201	5,675

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自2016年4月1日至2016年6月30日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日
2016年4月22日 取締役会	普通株式	利益剰余金	571,701	7.00	2016年3月31日	2016年6月2日

当第1四半期連結累計期間(自2017年4月1日至2017年6月30日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日
2017年5月19日 取締役会	普通株式	利益剰余金	694,302	8.50	2017年3月31日	2017年6月2日

(セグメント情報等)  
 【セグメント情報】

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報  
 前第1四半期連結累計期間(自2016年4月1日至2016年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			差異調整 に関する 事項	連結 財務諸表 計上額
	ファイナン シャル・サー ビス事業	アセットマネ ジメント事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	873,777	406,640	1,280,418	-	1,280,418
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,052	-	2,052	2,052	-
計	875,829	406,640	1,282,470	2,052	1,280,418
セグメント利益	407,689	88,658	496,347	-	496,347

当第1四半期連結累計期間(自2017年4月1日至2017年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			差異調整 に関する 事項	連結 財務諸表 計上額
	ファイナン シャル・サー ビス事業	アセットマネ ジメント事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	810,322	741,083	1,551,405	-	1,551,405
セグメント間の内部売上高又は振替高	5,402	-	5,402	5,402	-
計	815,724	741,083	1,556,807	5,402	1,551,405
セグメント利益	401,938	130,962	532,900	-	532,900

2. 報告セグメント合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する項)

(単位:千円)

売上高	前第1四半期連結累計期間	当第1四半期連結累計期間
報告セグメント計	1,282,470	1,556,807
セグメント間取引消去	2,052	5,402
四半期連結損益計算書の売上高	1,280,418	1,551,405

(単位:千円)

利益	前第1四半期連結累計期間	当第1四半期連結累計期間
報告セグメント計	496,347	532,900
セグメント間取引消去	-	-
四半期連結損益計算書の営業利益	496,347	532,900

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	4円09銭	4円37銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額 (千円)	334,201	356,912
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	334,201	356,912
普通株式の期中平均株式数(株)	81,671,600	81,687,237
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	4円08銭	4円36銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益調整額 (千円)	-	-
普通株式増加数(株)	150,069	264,458
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式の概要	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式はありません。	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2【その他】

2017年5月19日開催の取締役会において、次のとおり剰余金の配当を行なうことを決議いたしました。

配当金の総額 694,302千円

1株当たりの金額 8.5円

支払請求の効力発生日及び支払開始日 2017年6月2日

(注) 2017年3月31日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払を行っております。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2017年8月1日

モーニングスター株式会社

取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 小堀 一英 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 古谷 大二郎 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているモーニングスター株式会社の2017年4月1日から2018年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（2017年4月1日から2017年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（2017年4月1日から2017年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、モーニングスター株式会社及び連結子会社の2017年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

---

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. X B R L データは四半期レビューの対象には含まれていません。